

大会レポート

モルテンカップ

第37回千葉県小学生バレーボール新人大会

決勝大会のレポートです！！

今年の大会は昨年と異なり雪の影響はなく予定通り行われました。2月15日(日)に男子は佐倉市民体育館で県大会初日が行われ、女子は四街道総合公園体育館で大会初日が行われました。男子は12チームから8チームに絞られ、女子は32チームから8チームに同じく絞られて、22



日(日)香取市民体育館において決勝トーナメントが行われました。まず初日の結果では、女子は関東大会の結果からでシードされた、千葉中央、丸山VCガールズ、塚田JSCの3チームが姿を消す結果となりました。まさに勢力地図が塗り替えられる結果となり、男子についても法典東は初日で姿を消す結果となりました。なお、県大会には出場を続けていた小金原は支部予選で敗れるという結果でした。



2月15日(日)の女子1日目を勝ち上がったのはわかしおSC、法典、みつわ台、坪井VBC、薬園台南小、千種ジュニア、大津ヶ丘VBC、小金原の8チームで、また、男子は、丸山VCボーイズ、スターキッズ、ハヤブサ、飯山満南、昭和KIDS、印旛ヴィクトリー、ホッパーズ、NK千葉てっぺんの8チームが集まって、3コートを使ってそれぞれ平成27年度の全国大会のシードを目指して熱戦を展開してくれました。



女子は先ず、接戦を制したわかしおが初めてのベスト4に進出し、みつわ台もシードの坪井を破ってベスト4へ、千種も初めてのベスト4へ、最後の座は大津ヶ丘が進出してベスト4が決まりました。男子は、ここ数年ベスト4に進んでいた丸山がスターキッズ敗れ、飯山満南、印旛ヴィクトリーと久し振りにホッパーズがベスト4に進出しました。



みつわ台はサーブレシーブが安定し、わかしおを突き放して決勝に進みました。一方、千種もエースのスパイクが光って大津ヶ丘を退けて初の決勝に進みました。決勝は最初千種がリー



ドをして試合が進みましたが、レフトとライトからの攻撃によって中盤以降逆転しセットをものにしました。続く2セット目は千種の1枚の攻撃がやや単調となって差をつけてみつわ台が2年ぶりの優勝を勝ち取りました。なお、全般的にはチーム差は少なく、第35回全国大会の千葉県予選もどこが代表権を取るのか本当に混沌とした状態で。夏に向け、各チームのチーム力アップが今から本当に楽しみです。



一方男子については、攻撃の枚数とまとまったチーム力を持つ飯山満南がスターキッズをセットカウント2対1の接戦で退け、印旛ヴィクトリーも長身スパイカーのいるホッパーズを退け決勝に勝ち上がりました。決勝は一進一退のゲームでどちらがとってもおかしくないゲームでしたが、やや身長にまさる飯山満南が取り、続く2セット目もゲーム前半は拮抗したものの、第30回大会準優勝以来の優勝を飾りました。男子も女子同様に各チームともまだまだチーム力のアップが期待されますので、夏の全国大会本番までには好試合が連続することを期待いたします。



大会に参加された選手の皆様、本当に熱戦をありがとうございました。また、地元の佐原クラブと北東支部役員をはじめ大会役員の皆様大変お疲れ様でした。

最後に特別協賛をしていただきました株式会社モルテン様に感謝の意を表します。

